

1. 米作りと寒い夏の克服

- (1) 冷害をもたらすことがある、資料Ⅰの❶で示された北東の風は何とよばれているだろうか。

やませ

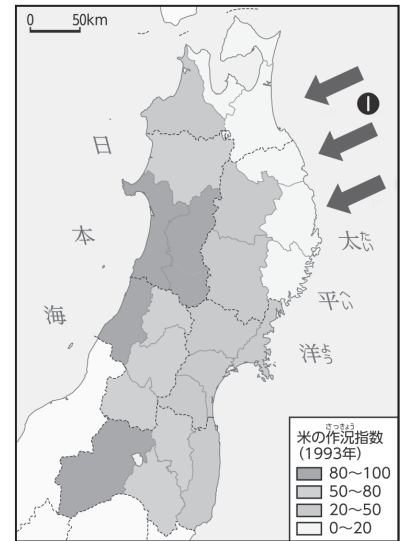
- (2) 資料Ⅰを見て、東北地方の冷害の地域的な特徴をまとめてみよう。

(例) 岩手県から青森県にかけての太平洋側で収穫量が特に少ない。

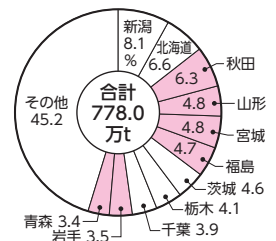
- (3) 資料Ⅱで、東北地方の県に赤で着色しよう。
(4) 冷涼な東北地方で、米の生産が盛んになった理由を挙げてみよう。

(例) ・秋田平野や庄内平野、仙台平野などの広い平野が多いため。
・豊富な雪どけ水を稲作に利用できるため。
・冷害に強い品種を開発し、栽培しているため。
・水田に深く水を張ったり、冷害の警戒を伝える情報システムを利用したりする対策を行っているため。

資料Ⅰ 1993年の東北地方の米の収穫具合



資料Ⅱ 米の生産



2. 減反政策と銘柄米の開発

1970年代に始まった減反政策とは、どのような政策だろうか。

また、減反政策以降、全国で銘柄米が開発されるようになった理由を考えてみよう。

減反政策	銘柄米を開発する理由
(例) 米の消費量が減り、米が余るようになったため行われた、米の生産量を減らす政策。	(例) より味のよい銘柄米を開発して、米の産地間の競争を勝ち抜こうとしているため。

3. 冷涼な気候を生かした農業と食文化

- (1) 東北地方では、資料Ⅲのようなそばや小麦を使った食文化がみられるのはなぜか説明してみよう。

(例) そばや小麦は寒さに強いため、米の不作に備えて作られていたから。

資料Ⅲ わんこそば



- (2) 東北地方の太平洋側の地域で、冷涼な気候を生かして栽培されている作物や農業を地図帳から調べ、まとめてみよう。

場所	三本木原 (青森県)	遠野市 (岩手県)	北上山地 (岩手県)
作物	にんにく ごぼう など	ホップ など	酪農 など

本時のまとめ

◆ 東北地方の農家が行っている稲作の工夫について、「やませ」、「冷害」、「品種」の語句を使って説明しよう。

(例) やませによる冷害の被害を減らすため、寒さに強い「ひとめぼれ」などの品種を栽培するなどの工夫をしているほか、水田に深く水を張ったり、冷害の警戒を伝える情報システムを利用したりする工夫を行っている。